

MSW通信 2025. 7月号

発行日 2025年(令和7年)7月25日

発行者 高知県医療ソーシャルワーカー協会

事務局 高知市本町4丁目1番37号丸ノ内ビル内 高知県社会福祉センター3F

FAX: 088-871-5100

事務局 E-mail: kochi_msw2017@yahoo.co.jp (お問い合わせ・各種届)

MSW 通信部会 E-mail: kochimsw@yahoo.co.jp (MSW 通信への記事投稿)

会報部会 E-mail: kaihou_kochi@yahoo.co.jp (会報 医療社会事業への投稿資料提供)

URL: <http://www.kochi-msw.com/>

ご案内

「令和7年度会費引き落とし」7月下旬予定

年会費口座振替手続きの皆様、第1回引き落としは例年通り7月下旬予定です。
引き落とし予定の皆様、口座残金確認をお願いします。また振替口座変更の方等、
急ぎ事務局までメール(kochi_msw2017@yahoo.co.jp)にてお知らせください！

何らかの不備にて振替エラーとなり集金できない場合でも協会は1件ごとに手数料を支払っています。ご理解ご協力をお願いいたします。

新たに振替手続きを希望される方は、上記の事務局アドレスへ

振替希望: 書類送付先の郵便番号、住所、所属機関名、氏名をご連絡ください。

「協会年会費 直接入金をお願い」

今年度会費を直接お振込み予定の方につきましては、すみやかにご入金いただければ幸いです。

よろしく願いいたします。

会費振込口座

・銀行支店名: 四国銀行 上町支店

・口座名義: 高知県医療ソーシャルワーカー協会会長中本雅彦

・預金種別: 普 通 ・口座番号: 5110175

報 告

『理事会』

【日 時】 令和7年7月10日(木) 19:00~

【開催方法】 オンライン(ZOOM ミーティング使用)

【参加者】 理事: 佐々木・高原・森田・小柴・秋田・大熊・稲田・島村・島田・宮地・山光

出席理事: 10名 理事会成立

事務局: 福島・村松

【議 題】

1, 部会活動報告(事業計画・報告検討)

① 社会資源調査研究部会(森田理事)

R7年6月26日(木) 17:45~18:15 リモート開催

・施設見学の報告書の作成中、掲載の了承済だが写真の掲載について追って確認中。老健情報どこまでを調査範囲とするか協議中。

・ホームページの社会資源情報のバナーから福祉タクシー情報が閲覧できるようリンクを貼る。

次回開催：令和7年8月28日(木) 予定

② 生涯研修部会(秋田理事)

R7年6月18日(水) 19:00~20:20 リモート開催

・6月18日月例部との合同開催を行い、今年度と来年度の研修計画確認。担当制で行う予定。

・新人研修、6月29日開催。

・基礎研修Aコースを9月21日開催に向けて準備中。

次回開催：令和7年7月16日(水) 19時~

③ 月例部会(大熊理事)

R6年6月18日(水) MSW 協会事務局対面開催

・7月例会19日に開催、PSW 協会と合同開催にて実施。制度説明会の学習会、当日参加者38名。

・8月例会：災害に関するテーマ、講師は高知福祉専門学校講師久野氏、高知県危機管理部南海トラフ地震対策課の沢田氏で準備中。

・6月18日に研修部会と合同で年間研修計画の確認を行った。

・6月末の日本協会研修部担当者会議があり荻野理事が出席した。

次回開催：令和7年7月29日(火) 18:30~

④ 会報部会(稲田理事)

R7年6月16日(月) 19:00~21:20 MSW 協会事務局対面開催

・6月16日に続き7月7日部会委開催。最終校正となり8月8日事務所にて発送作業、事務局より発送予定。広告申し込みは23事業所。

⑤ 財務部(佐々木理事)

(会計・事務局 6月会計確認) 令和7年7月4日(金) 18:00~

・月次会計報告(6月1~30日) 共有

次回開催：8月13日(水) 18:30~ 事務所開催

⑥ 広報部会(事務局・通信・HP・SNS)

・HP更新 6/16×1回・6/23×2回・6/26×1回・6/28×5回・7/3×2回・7/4×1回・7/8×2回 計14件

・ライン更新計9回 研修・トピック情報 ホームページとのリンク内容

・通信発行 6月号 6月30日発行 7月4日 HP掲載

⑦ 大会部会(島村理事)

令和7年6月19日(木) 19:00~

・6月19日開催、大会運営と役割について確認。大会テーマ及び内容について協議。全国組織となっている災害支援団体の中でも、当協会と関連がある団体等を確認共有した。大会では7つの支援団体の組織体制や被災地での取組内容を学ぶ。

テーマを「災害時の関連団体の支援体制の構図を知る」「災害関連団体の支援の枠組みを見える化する」として各関連団体へ参加のお願い等を相談調整予定。

開催日は2月14・28・3月14日辺りで調整中。会場は近森病院管理棟。

2, 他団体関係機関からのお知らせ・案内・名義後援等

- ・高知大学医学部・病院事務局：医療支援課ソーシャルワーカー募集要項 令和7年6月22日
- ・東京都医療ソーシャルワーカー協会：東京都医療社会事業協会機関誌「医療ソーシャルワーク 73号・東京MSW」の送付について
- ・第50回高知酒害サマースクールのご案内
- ・高知県介護支援専門員連絡協議会：令和7年度第2回研修案内
- ・高知県社会福祉協議会：キッズ☆バリアフリーフェスティバル2025の開催案内
- ・高知県子ども・福祉政策部：高知県医療ソーシャルワーカー協会月例会での講演依頼
- ・高知県子ども・福祉政策部：高知家健康会議2025の開催案内
- ・高知県介護支援専門員連絡協議会：令和7年度第2回高知県介護専門員連絡協議会研修会案内
- ・厚生労働省：毎月勤労統計調査特別調査の準備のための調査のお願い
- ・高知県健康政策部在宅療養推進課：地域医療介護総合確保基金を用いた令和8年度事業【医療分】提案
- ・高知県アルコール問題研究所：第50回高知酒害サマースクール後援依頼
- ・DWAT 高知県災害派遣福祉チーム（第6期）養成研修開催案内
- ・高知県社会福祉協議会：「ふくしフェア2025」の後援依頼
- ・大阪医療ソーシャルワーカー協会教育部：学び直し研修案内 2025年8月1日～2025年9月30日
- ・高知市基幹型地域包括支援センター：成年後見制度啓発チラシの配布及びHP掲載の依頼
- ・(公社)日本医療ソーシャルワーカー協会：令和6年能登半島地震1.5次避難所における医療ソーシャルワーカー活動報告書
- ・第16回日本医療ソーシャルワーク学会：北九州大会開催案内 2025年9月6・7日
- ・(一社)日本高齢者虐待防止学会：第21回日本高齢者虐待防止学会高知大会・後援名義依頼
- ・日本ソーシャルワーカー協会：一般社団法人日本脳卒中医療ケア従事者連合会：高知県支部設立協力依頼
- ・高知県言語聴覚士会：令和7年度高知県失語症者向け意思疎通支援者研修会のご案内

3, 協会代表者派遣

- ・高知市高齢者保健福祉計画推進協議会委員(依属期間R7・8.1～R8.3.31)中本会長
- ・高知県ふくしフェア2025第2回実行委員会 令和7年7月4日 高知県ふくし交流プラザ：秋田理事10月18日(土)イオンモール高知：高知県ソーシャルワーカー三団体にてソーシャルワークの啓発、就職相談対応、啓発については、既存のリーフレット配布と新たに団扇を作成配布予定(共同出資)
- ・高知県災害福祉支援ネットワーク：7月22日 荻野理事

『会員動向』

氏 名	種 別	内 容
藤本その子氏	退 会	南病院 (準会員)

次回理事会：R7年9月11日(木) 19:00～ リモート開催

『研修関連』

生涯研修部会 新人研修（高知県精神保健福祉士協会と合同開催）

日時：6/29(日) 10:00～15:30

場所：近森病院管理棟

参加者：3名

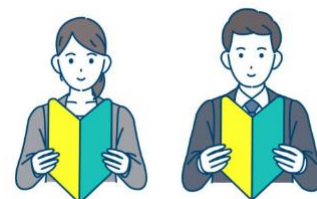
講義 1「先輩の体験談」

座長：岩貞 旭美氏(同仁病院)

発表者：三浦 彩氏(近森病院)、野村 佳世氏(高知病院)、山本 真奈可氏(救護施設誠和園)

講義 2「自己覚知」 講師：小林 莉都子氏(近森病院)

講義 3「組織とソーシャルワーク」 講師：藤井 しのぶ氏(高知医療センター)



【感想】

新人研修は、①先輩の体験談、②自己覚知、③組織とソーシャルワークの3つのテーマで講義が行われた。「先輩の体験談」では、3人の話者より、それぞれが1年目に感じていた思いなどについて話を伺った。また、受講生が現在悩んでいることに対して、助言をいただくこともできた。「自己覚知」では、自己覚知とは何か、なぜ自己覚知が必要なのかについて、ワークを通して考えた。「組織とソーシャルワーク」では、一般的な組織と医療機関の組織構造の違いを確認し、なぜ組織を意識することが必要なのか学んだ。また、受講生が現在所属している組織について、それぞれの組織の構造や理念を共有するグループワークも実施した。

土佐病院 高橋蓮

【感想】

新人研修内で先輩方の体験談を聞いている中で、まさに自分が目の当たりにしている「ソーシャルワーカーになってよかったのだろうか？」と悩んだ時期もあったとの話を聞き、少し不安が解消できたのと、これからそれ以上に立ち上がる壁はまだあるのだと実感できる良い機会となりました。特に、多職種連携が重要となる業務でもあり、今は職場の先輩方にたくさん相談して、知識を身に着けつつ、自分の気持ちや考えを言葉にして伝えることが出来るよう、いろいろな視点や意見を大切にして、「誰のための福祉なのか」を振り返り、これからの業務に反映させていきたいと感じました。そのためには、自分の強みや弱みを改めて知り、コントロールできるよう自己研鑽していくことも重要と感じました。就職後、初めての研修ではありましたが、同期の方との交流もでき、とても有意義で今後の自分の成長につながる研修内容でした。ありがとうございました。

介護老人保健施設リゾートヒルやわらぎ 竹本大輔



月例会 7月例会

日時：2025年7月5日（土）13：30～15：30（13：00～受付）

場所：近森病院 管理棟3F

内容：「制度学習会」 ※認定医療ソーシャルワーカー2ポイント

参加者：38名

講師：①高知県子ども・福祉政策課福祉指導課／高知市健康福祉部 福祉管理課
②高知市健康福祉部 介護保険課



【感想】

今回の研修に参加させて頂きありがとうございました。高知市福祉事務所、高知県子ども・福祉政策部福祉指導課、高知市役所介護保険課事業係の方々の発表に色々と考えさせられる事があり、大変勉強になりました。特に気になったのはコロナ禍以降、生活保護の開始件数が900件前後で推移しているという事です。これはコロナ禍だけでなく物価高なども影響しているのではないかという事でした。また、高知県の生活保護の動向の令和7年3月号の資料によると高知県全体の被保護者世帯13654世帯の内、高知市の被保護者世帯が8446世帯にもなり全体の6割以上を占めています。高知市に被保護者世帯が集中し、空洞化が顕著に進んでいるという事をデータをみて実感しました。これは、生活保護を支える担い手や生活支援などの事業なども高知市に集中してしまうという事です。そのことに向き合う為にもこの月例会を通して、意見を交換していけたらと思います。

上町病院 小川 信太郎

【感想】

2025年7月5日、近森病院管理棟にて開催された「制度学習会」に参加した。本研修は、生活保護制度の内容や生活保護の動向、介護保険制度について講義が行われた。講師は、高知県福祉指導課、高知市福祉事務所、高知市介護保険課より招かれた。

生活保護制度においては、受給世帯の約87%が医療扶助を受けており、多くの人が医療機関とつながっている現状が共有された。セルフネグレクトについては、行政機関よりも医療機関の方が診療や入院を通じて本人の状態をより直接観察できるため、早期発見しやすく、連携の必要性が示された。

介護保険制度においては、担い手不足や財源確保の課題が挙げられ、制度運営の難しさが明らかとなった。

高知医療センター 武村里乃



『お知らせ』

＜令和 7 年度基礎研修会・A コースのご案内＞

今年度は下記の日程で基礎研修 A コースを開催します。受講の対象者となっている皆さんには、後日案内文をお送りします。

日 時:令和 7 年 9 月 21 日(日) 9:30～17:00

場 所: 近森病院管理棟 3 階会議室 1

受講料: 2,000 円

日 程:

9:00～ 受付

9:30～11:00 ① 保健・医療・福祉をめぐる動向・諸制度の変遷

講師:高知県立大学 西内 章氏

11:10～12:40 ② 保健医療分野におけるソーシャルワーカーの役割

講師:いずみの病院 仙頭 渚氏

12:40～13:40 昼休憩

13:40～15:10 ③ ソーシャルワークの価値・視点・専門性

講師:高知医療センター 丁野 江里子氏

15:20～16:50 ④ ソーシャルワークと社会資源

講師:高知大学医学部附属病院 前田 英武氏

16:50～17:00 閉会のあいさつ

高知県災害派遣福祉チーム(第 6 期)DWAT 養成研修

DWAT は大規模災害時に高齢者や障がい者、乳幼児その他特別に配慮を要する災害時要配慮者を支援するチーム員を要請する研修会です。地震や豪雨による被災地支援を学ぶことはもちろんですが、南海トラフへの備え、受援体制づくりにも大変役立ちます。本研修会に参加し被災地でのソーシャルワークニーズを理解し、支援実践における基本的な知識と技術の習得をめざしましょう！

日時:令和 7 年 9 月 8 日(月)9:30～16:30

場所:高知県立ふくし交流プラザ 2 階多目的ホール

参加費:無料

内容:座学と演習 詳細は当協会 HP へ研修会案内を掲載しています。確認ください。

受講申し込みに関し、本人の申込書作成に加え、当協会の推薦書が必要となります。

参加希望者は事務局のメールアドレスまで、「DWAT 養成研修受講希望」にて連絡ください。

災害時のソーシャルワークを無料で学び多様な関連職種と交流、ネットワークを築くことができます。

養成研修⇒スキルアップ研修⇒リーダー研修+ブロック別研修+実地研修+県外派遣研修+通信訓練と多様な学びの体系、キャリアアップ体制が構築されています。



『求人情報』詳細は協会ホームページの求人情報へ
○高知県公営企業局(県立病院)
○朝倉病院



編集後記

2025年7月21日は、平成8年に制定された国民の祝日の一つ海の日です。

国民の祝日は法律(国民の祝日に関する法律)で決まっており、1月1日の元日から11月23日の勤労感謝の日まで、年間16日(祝日が日曜日になった場合の振替休日は除く)あります。

国民の祝日はそれぞれ名称が異なるだけでなく、各々趣旨が定められています。例えば海の日は「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う」という趣旨が定められています。

ちなみに、一番最近できた国民の祝日は、平成28年に制定された8月11日の山の日です。山の日の趣旨は、「山に親しむ機会を経て、山の恩恵に感謝する」とされています。

祝日の趣旨・意義を理解し考え、それにふさわしい一日を過ごすことができれば、一人一人のQOLも高まるのでは、と思う今日この頃です。

堅い話はここまでにして、海の日・山の日があるなら、川・空からも恩恵にあずかっていると思うので、現在祝日のない6月と12月にそれぞれ川の日・空の日が新設されれば、毎月祝日があるのにとともに思う今日この頃です。

理事M

MSW 通信への記事投稿お待ちしております！

会員で共有したいことや全国のソーシャルワーカー仲間、関係者、国民にお伝えしたいことがあれば先ずはご相談ください。

送付先は通信 yahoo アドレス kochimsw@yahoo.co.jp



